

大腸癌研究会プロジェクト研究「虫垂癌の臨床病理学研究」第四回ミーティング議事録

日時：2019(平成31)年1月24日(木)14:00~15:00

会場：京都テルサ 東館 2F 第1-3 セミナー室

出席者：(委員のみ。オブザーバー参加者は省略。順不同)

村田幸平(関西労災病院)、小澤平太(栃木県立がんセンター)、池永雅一(市立東大阪医療センター)、玉川浩司(大手前病院)、福永 睦(兵庫県立西宮病院)、舩石俊樹(愛知がんセンター)、真貝竜史(大阪府済生会千里病院)、中西正芳(京都府立医科大学)、安井昌義(大阪国際がんセンター)、福長洋介(がん研有明病院)、水野 均(日本生命病院)、須藤 剛(山形県立中央病院)、八尾隆史(順天堂大学病理)、岸本光夫(京都府立医科大学病理)、能浦真吾(市立豊中病院)、古畑智之(聖マリアンナ医科大学東横病院)、塩田哲也(西神戸医療センター)、森田俊治(市立伊丹病院)、岡村 修(市立吹田市民病院)、井出義人(八尾市立病院)、山口達郎(都立駒込病院)、加藤健志(国立病院機構大阪医療センター)、岩下明德(福岡大学筑紫病院病理)、鄭 充善(大阪労災病院)

### 1. 前回の議事録の確認

### 2. 腺腫、LAMN、粘液腺癌の病理について(順天堂大学 人体病理病態学講座 八尾隆史)

WHO 国際統計分類、ICD コードの確認。腺腫の病理組織像は、粘膜筋版が保持されている。粘膜筋版があり粘膜固有層があるものは腺腫と判断してよい。LAMN の病理組織像：腺腫上皮は線維化組織上に存在。一般には mucoccele で手術例は、LAMN と考えてよい。LAMN から癌化するものもある。

(がん研有明病院 福長委員) 病理組織でみると、LAMN と粘液腺癌の混合症例は有るのか。

(順天堂大学 八尾委員) LAMN と粘液腺癌(MAC) の混在症例もある。

(村田委員長) TNM 分類では、LAMN には T1 と T2 は無く、Tis の次は T3 になる。

(八尾委員) 規約に関して、LAMN の T 因子に関して、漿膜に関する記載が欠けている。壁を超えない限りは Tis という解釈。

(村田委員長) 腺腫・mucoccele と登録された症例が LAMN かプレパラートを見直して確認することも考えたが、ほとんどが LAMN であるので腺腫の見直しはしないことにする。

(八尾委員) mucoccele かどうかの確認だけでも可能な限りしていただければ。

### 3. 集積データの一次報告(大阪大学大学院 消化器外科学 武田和)

本プロジェクト参加施設で 2000 年から 2017 年の間に手術を施行した患者 922 例を集計。年齢の中央値は 64 歳で、女性 54%とやや女性に多い。緊急手術は 20%あり、腹腔鏡アプローチが 43%。術式は回盲部切除: 53%、虫垂切除: 27%。リンパ節郭清なしが 39%。合併切除ありが 24%であった。

病理組織は、虫垂粘液腫(腺腫を含む): 251 例、虫垂粘液腫(腺腫を含む)・LAMN: 31 例、粘液腺癌: 261 例 (G1: 90、G2: 61、G3: 35、GX: 74 例)、粘液腺癌以外の腺癌: 263 例 (pap: 5、tub1: 104、tub2: 93、por: 32、sig: 18、不明: 11 例)。病理組織のデータ欠測は 17 例。5 年生存率は、虫垂粘液腫(腺腫を含む)・LAMN: 91%、粘液腺癌: 67%、粘液腺癌以外の腺癌: 59%であった。Stage 毎の 5 年生存率でも、StageIVの粘液腺癌: 36%、粘液腺癌以外の

腺癌: 10%と、粘液腺癌で高いものであった。粘液腺癌の分化度 Grade が上がるに従い、生存率は低下した。

(村田委員長) 922 例での各項目背景因子のデータ欠測が 40-50 例ある。虫垂切除症例以外にもリンパ節郭清を省略した症例があると考えられる。粘液腺癌の分化度不明 (GX) は 3 割程度。胚細胞型カルチノイドが 3%ある。病理組織型のデータ欠測は 17 例あり、問い合わせする可能性あり。OS に関して、海外の報告同様、粘液腺癌が、それ以外の腺癌より予後の良い結果になった。Stage 毎の生存曲線に関しては、Stage I と II で近接しており、III は症例数が 18 例と少ない。粘液腺癌の StageIV の生存率は、さほど悪くなく既報通り。カルテ見直しで確認できることは願います。

(八尾委員) 病理組織型の por を、por1 と por2 に分けても良いかもしれない。

(都立駒込病院 山口委員) 病理組織診断の判定に関して、施設間でのばらつきはあるのか。

(村田委員長) 登録数の多い 2 病院 [がん研有明病院 92 例と都立駒込病院 71 例] 以外は、多くても 30 例ほどしか症例が無い。上位 2 病院と、それ以外の病院での比較検討をしてもよい。

#### 4. 今回のデータから明らかにしたい点について (関西労災病院 外科 村田委員長)

- ・西神戸医療センターの塩田先生より、LAMN に T2 (MP) はなぜ無いか。
- ・リンパ節郭清の為の追加切除の可能性は？
- ・フォローアップは 5 年か 10 年か。
- ・腹膜播種 (腹膜偽粘液腫) に対する有効な治療は？ HIPEC？ このミーティングに参加している病院で、腹腔内温熱化学療法・腹腔内化学療法を行っている施設は無かった。
- ・術後補助療法の効果は？ 種類は？ 期間は？
- ・今回の登録を通じて、明らかにしたいと感じられたテーマがあれば、委員長まで連絡をください。
- ・次回までにデータを確定し、論文作成に着手する。次々回でプロジェクトは終了予定。